

5. 地区の現状と課題を踏まえた飛鳥宮跡周辺地区のまちづくり基本方針

まちづくりのテーマ

～飛鳥宮跡を核とした歴史を体感できるまちづくり～

まちづくりの目標

◆古都の風格を育み、新たな魅力を創造するまちづくり

国家形成の地・飛鳥の都から続く明日香の風格を村民と協働して育み、歴史文化資産を磨き、輝かせることによって、新たな魅力づくりにつなげる。

◆歴史文化が体感できるもてなしのまちづくり

国内外からの来訪者が、歴史文化を見て、触れるとともに、特産品などを味わうことができる「もてなし」産業による働く場の確保、体制をつくりだす。

◆住む喜びと誇りを感じられるまちづくり

生活環境の快適性、利便性を感じられる基盤整備を充実させる。

◆歴史的風土の維持・向上を目指す景観まちづくり

日本のこころのふるさと・明日香の核心部の景観保全と景観形成を進める。

地区の現状と課題

<課題1> 価値ある歴史文化資源を地域振興のために十分に活用できていない

<課題2> 人口減少により増加する空き家の活用取組の拡充が必要

<課題3> 歴史的風土の保全活動の継続が必要

<課題4> 飛鳥宮跡周辺地区へのアクセス性ならびに地区内の周遊性が十分ではない

<課題5> 明日香の特長を活かした産品が不足している

まちづくりの基本方針

方針1：地域資源の活用

方針2：空き家の有効活用

方針3：景観保全活動の維持・発展

方針4：アクセス性ならびに地区内周遊性の向上

方針5：特産品の開発

6. 飛鳥宮跡周辺地区まちづくりイメージ



7. 飛鳥宮跡周辺地区まちづくりでおこなう事業(案)

■地域資源の活用

- ◆飛鳥宮跡整備
 - ・国指定史跡飛鳥宮跡の整備
- ◆情報通信網整備
 - ・光通信網整備の支障となっている木柱の鋼管柱への建替
 - ・観光情報や歴史展示情報などを取得できる屋外 Wi-fi 等の整備
- ◆CG等による復元
 - ・飛鳥京のCG等による復元
 - ・CG等による歴史展示
- ◆役場庁舎の移設
 - ・飛鳥宮跡整備の周辺環境として役場敷地の活用検討

■アクセシ性・周遊性向上

- ◆狭隘区間の整備
 - ・県道多武峰見瀬線（島庄工区等）の狭隘区間解消
- ◆観光拠点機能の充実
 - ・石舞台古墳周辺、水落遺跡周辺等に観光拠点としての機能を整備
- ◆周遊を誘導する仕組みづくり
 - ・特別用途地区の設定や空き家バンク制度の支援による空き家を活用した商業施設の誘導
 - ・チャレンジショップ設置による村内での商業活動誘致支援
- ◆周遊を誘発する情報発信
 - ・県内における宮遷都という広域的周遊（平城宮跡⇄藤原宮跡⇄飛鳥宮跡）

■空き家の有効活用

- ◆空き家を活用した創業支援
 - ・空き家の商業利用に対するリフォームや許認可等に係る支援
- ◆空き家の利用促進
 - ・空き家バンク制度による登録や仲介、動産整理やリフォーム等に係る支援

■景観保全活動の維持・発展

- ◆電線類地中化整備
 - ・村道飛鳥島庄線、村道岡戎線の電線類地中化
- ◆古都買入地の管理
 - ・適切な維持管理と効率的な活用検討
- ◆河川景観の維持
 - ・飛鳥川の浚渫や景観に配慮した護岸等整備

■特産品の開発

- ◆地元産品の販売促進
 - ・地元産品を周辺施設や村外でも手に入れることの出来る販路の拡大
- ◆加工製品の開発促進
 - ・旬菜館などを活用した村内農産物等を活用した加工品開発支援

8. 飛鳥宮跡周辺地区まちづくり構想図

